

2019年11月12日
四国電力株式会社

2019年度第2四半期決算 会社説明会での主な質疑応答

- Q. 50円配当の前提として、伊方3号機の安全・安定稼働による事業運営の正常化が挙げられているが、特定重大事故等対処施設（以下、特重）の設置時期の遅延は、50円配当の実現に影響するのか。
- A. 現行の中期経営計画策定時に比べて、電力小売の競争激化や原子力の安全対策費の増嵩により、経営環境は厳しくなっている。こうした中、特重の設置時期の遅れが収支に与える影響も大きいですが、この影響は最大でも1年程度に留まるものと見ている。今後、特重の早期完成に向けた取り組みとともに、中長期に亘る収益拡大に向けた取り組みを加速させることで、可能な限り早期に1株あたり50円配当が実現できるよう努力してまいりたい。
- Q. 電気事業以外の分野での取り組みの手ごたえは。
- A. 足元では、連結ベースでの全体利益のうち、3分の1以上が電気事業以外の分野における利益となっている。電気事業以外の分野が順調に伸びていることについては手ごたえを感じているが、電気事業は競争激化による収益力低下が見られるため、今後は、電気事業と電気事業以外の両輪で取り組みを進めていきたいと考えている。

以上